



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとイトちゃん

さわやかに 歴史と未来の出逢うまち

かがみ

議会だより

No.63

平成19年[2007]
11月15日発行

決算認定	P2・3
常任委員会報告	P4・5
一般質問	P6~9



上郡町文化協会発表会



みなさんの熱演に拍手!!

平成18年度 決算認定

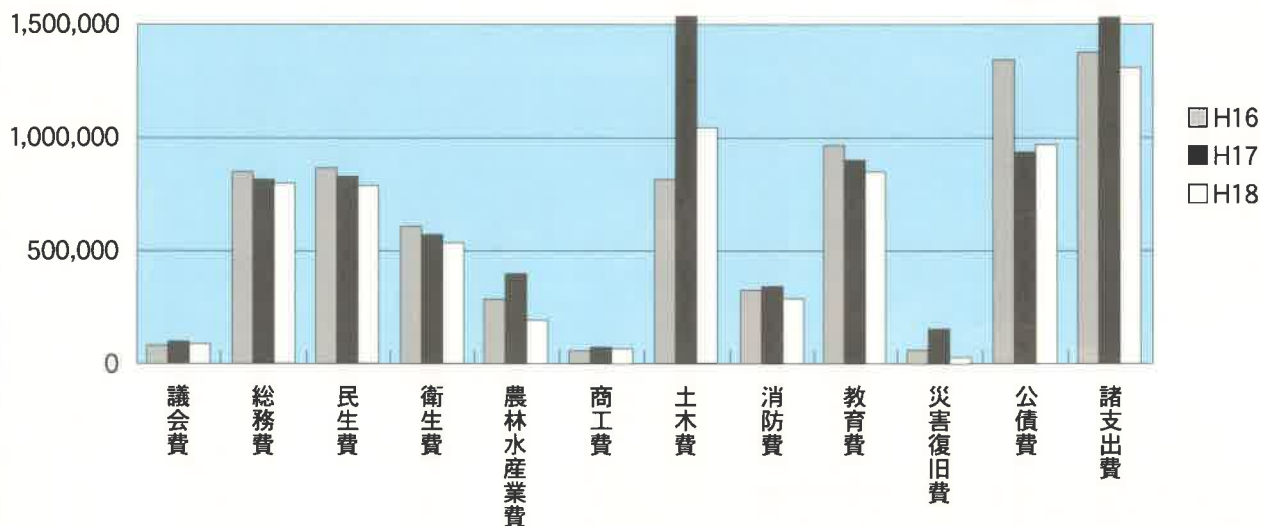


町営住宅ハイツあゆみ完成

定例議会を9月12日に開会し、諸報告、8名の議員による町政についての一般質問に続き、教育委員会委員任命の同意、平成18年度一般会計及び特別会計の決算認定、町道の路線変更、廃止、平成19年度一般会計及び特別会計補正予算など21議案と請願1件、また追加議案として上程された発議2件と副町長選任の同意案件、これらすべての議案を慎重審議の結果、可決し9月20日に閉会しました。

一般会計の内訳

(単位：千円)



一般会計内訳

(単位：千円)

	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出費
H16	111,445	875,953	883,009	611,715	248,332	49,403	780,313	334,072	952,425	54,293	1,359,913	1,404,233
H17	120,460	847,743	854,933	574,392	372,939	55,367	1,852,957	336,698	834,240	155,614	924,895	1,569,360
H18	114,885	843,993	843,215	522,658	148,492	53,532	1,042,279	304,796	763,403	15,723	972,391	1,364,329

会計名		歳入	歳出
一般会計		7,310,190,446	6,989,695,934
特別会計(水道事業除く)		6,398,872,996	6,193,666,121
特別会計内訳	住宅改修建設資金貸付事業	6,221,276	5,121,782
	国民健康保険(事業勘定)	1,744,030,089	1,701,573,715
	国民健康保険(直診勘定)	4,375,426	4,375,164
	老人保健医療事業	2,022,102,598	2,033,714,916
	介護保険事業	1,156,267,948	1,141,945,698
	農業集落排水事業	267,849,454	267,200,384
	公共下水道事業	1,016,189,371	1,009,890,263
	山野里工業団地造成事業	146,191,514	294,280
	公園墓園事業	35,645,320	29,549,919
	簡易水道事業	30,535,616	29,583,863
水道事業(収益的収入及び支出)		406,584,557	364,702,235
水道事業(資本的収入及び支出)		6,834,618	430,334,057

※水道事業(資本的収入及び支出)において、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額で補てんするものとする。

監査委員の意見

- 時代の要請に対応した組織機構の再編を図り、即応性や機動性をもった組織編成を。
- 行政と民間の分担の見直しを行い、民間委託、指定管理者制度の導入を積極的に検討されたい。

各委員会付託審査結果

総務文教常任委員会

一般会計

意見・要望

- 旅費の報告をできる限り詳しく明記すべきである。
- 委託料 補助金の目的・基準・効果など検討し、見直しをするよう申し入れた。
- 不用額が多く、見積りを慎重に取り組む事を要望した。

土木水道常任委員会

水道事業

簡易水道事業

農業集落排水事業

公共下水道事業

意見・要望

水道事業

今以上の生産性向上を図るための経営効率化を追求検討するよう申し入れた。

- 農業集落排水事業
- 公共下水道事業

未収金の回収や接続率の向上のための啓発及び地域との連携等を申し入れた。

厚生経済常任委員会

住宅改修建設資金貸付事業

国民健康保険事業

老人保健医療事業

介護保険事業

山野里工業団地造成事業

公営墓園事業

意見・要望

- 住宅改修建設資金貸付事業

財政状況等から判断し、徴収に関して今までと違った対応をすべきであり、償還に係

る誓約書の徴収、保証人との交渉及び徴収努力を惜しまないことを強く要望した。

- 国民健康保険事業

健全な事業運営及び公平負担の観点等から、未収金回収の徹底と医療費抑制の為の予防事業等の実施を申し入れた。

- 老人保健医療事業

健全な運営、医療費抑制の為の保健指導等の検討を申し入れた。

- 介護保険事業

未収金の回収や予防事業に努め、健全なる事業運営を行うことを申し入れた。

以上、一般会計・特別会計について、それぞれ監査委員の報告及び意見を参考にしながら、慎重に審査を行った。結果、決算書、諸帳簿、証書類等の計数は、正確に処理され、いずれも良好と認められた。

各委員会として、一部意見・要望を申し入れて、各々の事業会計決算は認定すべきと決した。

工事請負契約
締結を可決

目的 (仮)町道中学校線他
方法 制限付き一般競争入札
金額 6442万6950円
契約者 栗本建設・立建設・
神名工務店
特別共同企業体

目的 上郡中学校新築工事
方法 制限付き一般競争入札
金額 18億3607万3050円
契約者 栗本建設・立建設・
神名工務店
特別共同企業体

合併調査検討特別委員会

第16回、第17回赤穂市・上郡町合併協議会の協議内容並びに7月30日から7日間行われた住民説明会について報告がありました。

また、9月28日に行われた第18回協議会において、赤穂市・上郡町合併協議会の廃止が原案どおり決定され、両市町長から、「上郡町とは隣接する自治体でもあり、これまで以上に良好な関係でお付き合いを続けていきたい。合併を望んだ多くの町民の方々にお詫びしたい」、「今は住民の理解を得ながらまちづくりを進めていく時代であり、住民の意志が示された以上やむを得ない。今後とも赤穂市とは連携、協力していきたい」との発言があったと報告がありました。

委員会としても、約4年間の協議を経て合併できなかつたことは非常に残念である。合併を熱望された多くの町民皆様への陳謝、並びに協議全般に関する反省の意見などが出されたうえで、10月臨時議会での「協議会解散」が全員一致にて了承されました。

千種川床上浸水対策特別緊急事業特別委員会

用地の進捗状況について（8月1日現在）

- ・地権者の総数 173名 契約者数 83名 (47・98%)
- ・筆数の総数 288筆 契約済数 114筆 (39・58%)
- ・補償について物件総数 110件 契約済数 62名 (56・36%)

総務文教常任委員会

● 税収わずかに増、しかし…

平成18年度決算における納欠損額の激増は、県の指導のもと、昭和時代からのものを整理したためである。今後固定資産だけでなく、通帳も差し押さえていく。

(意見) 差し押さえを実施した場合、対象者の公表も必要ではないか。関係課との協力体制も必要。

● 放課後子ども教室

10月からスタート

行政、学校、社会教育、PTA、児童福祉の各関係者で構成する運営委員会を組織し、地域の協力を得て、体験、遊び、学習、交流などの事業を

推進する。実施は上郡、山野里、高田、赤松の4小学校で行う。

(意見) 残りの3校についても実施の検討を。

● 地上デジタル放送の受信は？

自治会懇談会を開催したところ、負担金を出してもよいので、町が主体となって、ケーブルテレビを整備してほしいとの意見が多かった。

町長からは、12月までには方針を出したい旨の回答であった。

(意見) 全町統一を図り、是非とも実施にむけて努力していただきたい。



上郡中学校10段ピラミッド

土木水道 常任委員会

厚生経済 常任委員会

テクノに新企業が進出

人事案件

●ハイツあゆみB棟

ようやく完成、入居始まる
霞ヶ丘住宅22戸、緑ヶ丘住宅11戸が入居し、特別入居、一般入居は15戸で、48戸すべての入居予定が、2戸辞退。

●赤松、与井両水源池

本年12月頃には、濁度調査の結果や経済性、安全性などからその方策を判断して決定する。

●雲津橋完成

赤穂佐伯線と竹万区画整理地区を結ぶ雲津橋の開通式が9月30日行われ、当日開通した。

●特養(仮)「野桑の里」が着工

社会福祉法人高嶺福祉会が整備する(仮)特別養護老人ホーム「野桑の里」が、来年3月末の完成に向けて着工した。入所者の受け入れは4月末から5月初めになる予定である。定員は50名(別に短期5名、デイサービス25名)

●グループホームと介護療養施設も新設及び増設へ

●認知症対応型共同生活介護施設(グループホーム)整備は、社会福祉法人勝心会(ほうらいの里)が事業実施の指定になり認定に向けて進めている。入所者数は12名で、来年3月末完成の予定である。

●老人介護施設は、「高嶺の郷」に介護療養型施設を増築するもので、駐車場と2階の療養室(リハビリ)30床の計画、来年3月末の完成予定である。

播磨科学公園都市内の企業誘致について、(株)三日月運送(物流倉庫の建設、営業)とジャパン・エア・ガシズ(工業用ガス製造)の企業進出が決定された。

●保育料改定について

本年12月又は、来年度の保育料改定に向け、事前にサービス、施設職員配置状況並びに国の保育料金基準額について現状報告を受けた。

料金については、各年齢別平均が国基準平均の52%〜62%と低く設定されている。今後、当委員会の審議を経て、適正な額に改定したいとの報告があった。

委員会の質疑では、現在、国基準より保育料金が低く設定されているのは、当町が福祉の向上に貢献してきた結果であり、改定は保留すべきとの意見を申し添えた。

副町長の選任

副町長の前川清之氏が9月30日付で任期満了となり、後任として高橋道夫氏を選任したく提案され、全会一致で同意しました。

教育委員の選任

教育委員会委員の山本剛氏が11月12日付で任期満了となり、後任として櫻原隆男氏を選任したく提案され、全会一致で同意しました。



高橋道夫氏

住所 山野里875の7
氏名 高橋道夫

昭和23年7月17日生



櫻原隆男氏

住所 山野里2337の3
氏名 櫻原隆男

昭和25年7月21日生

前川清之様、永きにわたりご尽力いただきありがとうございます。

山本剛様、教育行政に多大なるご尽力いただきありがとうございます。

10月臨時議会

合併協議会解散

合併協議会及び、合併特別委員会を踏まえた上で、赤穂市・上郡町合併協議会の解散議案が、全会一致で可決した。



上郡中学校チアリーディング

力強いリーダーシップで町政運営を

救急体制問題について

問 現代の交通戦争社会において主要な移動手段として利用する自動車は、ともしれば

被害者、加害者ともなり得る二面性を併せ持っており、行政にも交通事故撲滅の啓発や万全の救急体制が強く求められる。そこで、交通事故だけでなくいろんな災害に対し有能な救助工作車を上郡分署に配車することを望むが、どうか。

答 交通安全協会を中心に早朝立ち番など交通安全の啓発に努めている。配車について

は財政的な見通しが立った上で検討させていただきたい。

合併問題について

問 上郡町との合併を拒否した赤穂市住民投票の結果から、これほど大差になった原因は何とお考えか。

答 率直なところ、大差での結果に非常に驚いている。原因の一つには、これまでの経過の問題、中心部・周辺部の問題等も考えられる。



救助工作車

問 単独町政による悪影響や問題には、常にポジティブな姿勢で力強い行政のリーダーシップを期待するが、お考えは。

答 対価は大きかったかも知れないが、深く反省もしながら合併協議の中で得た経験を糧とし、当面の間は、財政的な優先順位を考慮しつつ本町の道を進める。

●その他の質問
●教育問題 いじめについて

豆田合併協会会長等の責任を問う

『初めから実らない合併』の協議を進めた責任を問う

問 赤穂市と上郡町との合併



工藤 崇 議員

協議は4年間も続いた。工藤はその間「赤穂市民には合併機運はない。これ以上、上郡町の傷を深くしないよう、早く合併協議を終らせ決着を図るべき」と主張し続けてきた。結局、9月9日の赤穂市の住民投票で7割の反対票があり、市長が合併断念を表明する結果となった。

上郡町では、合併関連（2つの合併協負担金、人件費、議会

リコール選挙、出直し選挙等）に1億6千万円以上の税金を無駄にした。

豆田会長には当初から少なからず市民の意向は分かっていたはず。その責任を問うべきである。

答 当初、賛否の得票数が競うのではないかと思っていたが、あまりの差に驚いている。

上郡町も非常にダメージを受けた。「私の責任で合併をします」と進めた以上、この責任は私にもある。

過去のことは、工藤議員の言われるとおりでよく分かる。しかし、豆田市長にどうのこうのとは言っていない。これからもよき隣人として赤穂市とも付き合っていきたい。

その他の質問

- 夕張市のような財政債権団体にならない取り組みを
- 税、公共料金の負担の公平性確保と事務の正確性を



上郡小学校稲刈り体験

皆で築こう 新生上郡町

明るい未来へビジョンを

問 赤穂市との合併が不調になったが、これを新しい上郡町に生まれ変わる最大のチャ



阿部 昭 議員

ンスととらえ、全町民の協力を得られるようにはつきりと所信を打ち出すべきと思うが、

答 上郡町がひとり立ち出来るべく全町民の意見を聞き、また専門家の知恵もお借りし新しい町づくりの施策をとっていききたい、ご協力をお願いいたします。

腰掛式トイレの増設とオストメイトトイレの設置を

福祉こそ進むべき道

時代は人口減少社会に

問 地方分権時代における上郡町の目指すものと課題について質問します。



小寺政広 議員

本町の目指すものは、福祉のさらなる推進だと考えます。

今、時代は少子高齢化、人口減少社会になりました。町民とともに、さらに質の高い時代に応える福祉のまちづくりを目指すべきです。

上郡町は、近隣と比べてもそうそう劣っていることはない。その柱には福祉があつて充実させてきた。この福祉を捨てたらいけない。

問 年輩者で膝が悪くなり、和式トイレでは悩んでいる人が多くなっているが腰掛式便器が非常に少ないが増設を考

えておられるのか。

答 公共施設で洋式大便器はたしかに少ないです。和式を洋式に、腰掛式に改善の余地があるという事でいち早く検討したいと思えます。

問 人口肛門の方に必要なオストメイトトイレが上郡町には1ヶ所も無い、是非設置してほしい、又上郡町には何人

答 おっしゃるとおりだと思います。時代の流れのなかで、いろんな福祉の考え方が出てきますが取り組んでいきたい。

例えば、給食の問題をとりまして、ただ単に学校給食でなしに老人福祉もかねたような給食も合わせてするんだというような考え方をもち合わせ、いろんな方々のご意見を聞きながらやっていきたいと思っております。

位対象者はいるのか。

答 対象者は18人位です。財政的にすぐとは言えないが施設に最低一つは変えていきたいと考えております。

その他の質問

- AEDの常備を要望する
- 放課後子供プランを急げ
- 公営住宅に子育て支援枠を



オストメイトトイレ

給食の具体的な取組みを

問 町長は学校給食の実現を約束しました。合併による実現ができなくなった現状において具体的な取組みを示すときにあると考えます。

答 今もやっていきたいと思っております。12月議会には、その話ができるのではないかと考えております。現状では、やりますと言えない段階だろうと思っております。



地域包括支援センター

人間味ある温かい対応を

落札率の公表を

問 町当局は「落札率はホームページに出している」とは言うものの、一般の人の目に

は届かない。この情報化時代に落札率の公表を躊躇するべきではない。その見解を伺いたい。

答 躊躇する意図は全くない。住民の方に本当に落札率が必要なかどうかを判断して対応する。

温かい窓口対応を

問 最近のニュースを賑わし

ている社会問題。老後のために何十年も積み立てた年金を平気で横領するなどの事件が絶えない。一方、生活弱者と言われる人たちには冷たい。何度も生活保護などの申請をしたにも拘わらず、福祉の手が届かぬうちに孤独死をしたりする。これらの事件は、温かい人間味のある対応をしておれば防ぐことができた事件だ。これらの社会問題が対岸の火事で済ますことができるのか。町長の見解を伺いたい。



職員の対応

また、町職員に対する指導にについてもお聞かせ願いたい。
答 明るく迅速に対応することが一番大事だと思う。一般的な知識も含め職員研修などで接遇研修など尽力していきたい。また、制度を超えた問題については、二課にまたがる問題も出てくる。難しい面もある。懇切に説明していくよう努めれば、納得してもらえるとと思う。職員に対しても、その点指導していきたい。

合併不成立の結果を踏まえて

思い切った行財政改革を

問 赤穂市の住民投票が開票され、投票率61・98%、「合併しない」が18062票で

「合併する」の8193票を大きく上回る結果となりました。この事態を踏まえた上で、今後どのような形で上郡町独自の社会基盤、財政基盤を確立し、独自の方針、方策を持って運営していくのか。

答 合併の最大の目的は、スケールメリットを生かすことであり、これが「ダメ」だった結果を踏まえて単独で行こうと腹を固めた以上、新しい

財政移譲の対応の仕方、あるいは集中プランを中心に、人件費はもとより、各種団体の補助金、交付金等の削減を行い、経費の節減・財源の確保を進めて行きます。

問 合併がノーと言われた以上、町民に対しての自らの意識改革はどう考えますか。

答 合併するしないにかかわらず、財政的に立ち直れる様を考えておく事が、職員への意識改革につながるものと思っております。

問 各種事業の見直し、職員の給与カット等の問題に対して、具体的にどの様にして行くのか。

答 補助金、交付金、手数料等は、ゼロベースから始める事が原則であると考えております。職員の給与等をカットする事に思われがちですが、今の所、手をつける事は考えておりません。



奉仕活動



橋本正行 議員



赤松初夫 議員